

2023年(令和5年)6月号

壬生川公民館だより 6月

壬生川地区人口 4月末現在
(先月比)
男性 2,256人 (-4)
女性 2,435人 (-11)
合計 4,691人 (-15)
世帯数 2,256戸 (-8)

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp



西条市役所のHPには
カラー版を掲載しています。

壬生川公民館だより



6月の主な行事予定

日	曜	行 事
1	木	人権相談 9:00~15:00
3	土	放課後子ども教室
4	日	壬生川校区レクバレー大会 9:00~
5	月	休館日
10	土	放課後子ども教室(防災キッズ)
12	月	休館日
17	土	放課後子ども教室(工作)
19	月	休館日
22	木	公民館協力委員会 19:00~
24	土	放課後子ども教室(AGOで遊ぼ)
26	月	休館日
30	金	青少年健全育成協議会役員会 19:30~



「石鎚黒茶の製造技術」

国重要無形民俗文化財指定記念 シンポジウム開催

令和5年3月22日に西条市の「石鎚黒茶の製造技術」が発酵茶の伝承や製造技術の変遷を理解する上で重要であるとして、国の重要無形民俗文化財に指定されました。それを記念してシンポジウムを開催します。ぜひご来場ください。

日 時: 6月4日(日)13時15分~16時30分
(12時45分開場)

場 所: 西条市小松公民館

主な内容 ○指定団体の紹介

○記念講演

○パネルディスカッション

○製造工程を紹介するパネル展

※当日は、試飲会等を行います。

(都合により中止する場合があります。)

時間 12時00分~13時00分

問合せ: 市庁舎新館4階社会教育課

TEL0897-52-1628



今年もたおやかに房を見つけました

絶景

毎年、開花を心待ちされている方が多い、喜多台の「藤森公園」の藤の花「喜多台老人クラブ」の皆さまのお世話で今年も見事に花を咲かせました。桜と同様に今年の開花は早く、4月20日過ぎに満開を迎えました。CDに収められた壬生川小学校コーラス部の皆さんによる「藤森の歌」の歌声が流れる中、たくさんの方が美しい花を目だけでなく、かぐわしい香りも楽しまれていました。

公民館の利用方法が変わりました!

5月8日(月)から、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、感染症対策に関する施設の条件を解除しました。



利用の際の注意事項

- ① マスクの着用は個々の判断でお願いします。
(感染対策上等の理由により、利用者の方にマスク着用をお願いをするかもしれません。)
- ② 定期的な換気やこまめな手洗い、咳エチケットをお願いします。
- ③ 消毒液、体温計、アクリル板等の感染対策用品は、状況に応じて使用してください。

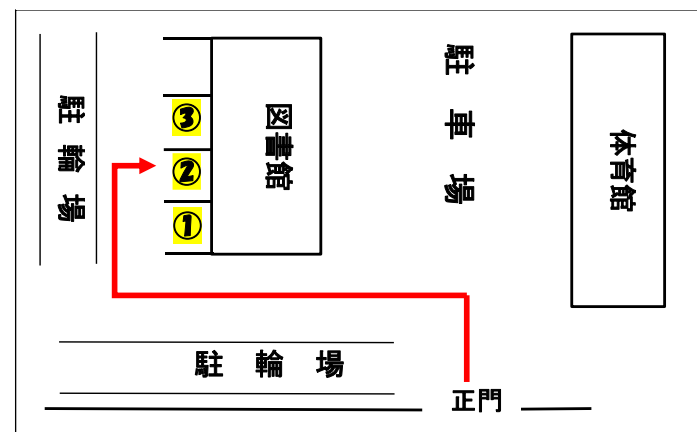
【6月のごみ収集日】 当日の朝8時までに決められた場所にお出しく下さい。

- ◆古 紙(新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ)・・・7日(第1水曜日)
- ◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶・カセット式ガスボンベ・・・14日(第2水曜日)

※粗大ごみは申し込み制で戸別収集(有料)となっております。

東予東中学校からお願い

古紙を各家庭ごとに、 いつでも持って来てください!



- ①段ボール
- ②雑誌・プリント類
- ③新聞紙・広告



古紙回収で得た収益は、本校の生徒の活動のために活用させていただきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

長らく公民館活動を阻んでいた「新型コロナウイルス感染症」も5類へ移行。活動の制限も解かれ、公民館にも活気が戻ると思います。

令和5年度の講座も計画中です。どうぞ公民館にいらしてください。お待ちしております。

高齢者ドライバーの皆さま

「高齢者交通安全教室」開催

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。

ドライブレコーダーによる運転のチェックを行うことで、ご自身の運転技能を再確認することができます。

ぜひご参加ください。

- 日 程: 令和5年6月19日(月)
- 時 間: 午前の部 9時~12時
午後の部 13時30分~16時30分
- 場 所: 西条ドライビングスクール
(西条市石田284番地)
- 対 象: 市内在住のおおむね65歳以上で
自動車運転免許をお持ちの方

○定 員: 1回20人(先着順)

○応募締切: 6月12日(月)

○持参物: 運転免許証
眼鏡等運転に必要なもの

○申込先: 西条市役所危機管理課くらし安全係
TEL0897-52-1284(直通)



地域の力で町を美しく



5月7日、14日、両日ともあいにくの悪天候でしたが、朝早くから壬生川各地区で一斉大掃除が行われました。側溝の清掃や、ゴミ拾いなど、たくさんの方のお力で、きれいになりました。

壬生川地区 一斉大掃除

ひうち旬会 (順不同)

山笑ふ百寿を目指す八十路かな
稲井 卓機

藤房の濡れて重たき別れかな
石原 宏子

ひとり居の自由と覚悟白牡丹
岡部 和代

総身に藤のうつり香歌碑に立つ
木原美寿子

百選の水かがやける植田かな
福本 実子

高らかに鶉囀るよ昼の月
丸山 英子

遍路杖びく世田山昼深し
矢野 悦子

サークル紹介

「美しい貴婦人」の名のごとく

フォークダンスを楽しまれる
“ベラドンナ”フレンズの皆さん
イタリア語で「美しい貴婦人」という意味の「ベラドンナ」、たたずまいも凛として美しい。
フリルのブラウスに幾重にも広がるスカートで、軽やかにステップ！
何より、踊られている皆さんの笑顔が輝いていてステキです。



“ベラドンナ”フレンズ
毎週火曜日
13:30～15:30

「人権相談所」を開設します

差別やいじめ、体罰、家庭および近隣関係等、人権問題で悩み事や、心配事がありましたらご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。

- 日時 6月1日(木) 9:00～15:00
- 会場 壬生川公民館 1F 白鷺の間
- 相談員 人権擁護委員



～毎月10日は人権を考える日～

映画「破戒」から考える

昨年、水平社創立100周年記念事業として映画『破戒』が製作されました。主人公は瀬川丑松。丑松は、故郷を出るとき父親から「いいか丑松、部落民という素性を隠せ。」と言われます。この戒めを守って、素性を隠したまま、やがて丑松は小学校の教師となり、子どもたちに慕われます。自分が授業をする教室で、子どもによる部落差別事象が起こります。丑松は、子どもたちに差別することの間違いを話します。そして、誰もが胸を張って生きていくことの素晴らしさを話して聞かせるのです。ですから、子どもたちにとって丑松は、すべての子に対して同じ態度で接する大好きな先生なのです。

また、この戒めを守って、大人の部落差別事象の現場に出くわした時には、じっと耐えて見て見ぬふりをするのです。「止めたい。止めさせたい。」という気持ちをどのようにして押しとどめていたのでしょうか。どんな気持ちで我慢して耐えていたのでしょうか。丑松の尊敬する猪子蓮太郎は、出自を明らかにして活動する思想家です。その猪子に、手紙を出し面会することができました。しかし、猪子蓮太郎は壮絶な死を遂げます。その後、丑松の素性が、様々な形で、悪意ある人によって容赦なく暴かれていくのです。

思い悩む丑松は、ついに決意します。父の戒めを破ることを。学校で子どもたちに自分の出自を話します。そして涙ながらに懺悔します。・・・懺悔しなければならないことでしょうか。部落差別は、絶対に許すことができないものです。明治時代は、そういう時代だったのでしょ。今の時代には考えられないことです。20数年後には、水平社が創立され、宣言が高々と読み上げられます。「自らを誇りうる時が来たのだ。」

教師を辞し東京へ向かう丑松を、子どもたちと師範学校時代からの友達の教師が見送ります。丑松は子どもたちに言うのです。「生きていれば、きっとまた会える。」この言葉から、丑松の子どもたちへのメッセージが想像できます。

- 「どんなに苦しくても、耐えろ。そして生きろ。」
- 「この世の中をきつと変えてみせるぞ。それまで、がんばれ。」
- 「みんなで一緒に、差別のない世の中にしていこう。」
- 「仲間を信じろ。仲間と一緒に耐えられるぞ。仲間と一緒に変えられるぞ。」

もっともっとたくさんの思いを込めて語ったのだと思います。
「愚かだから差別するのではない。弱いから差別するのだ。」
劇中の言葉で、印象に残った言葉です。私なりに解釈すると、差別することは許されないことだと分かっている。それが分からないほど人間は愚かではない。差別するのは、自分を守ろうとして、自分以外の者を犠牲にしているのだ。自分以外の者を犠牲にして自分を守ろうとする狡さなのだ。差別することは、自分の弱さをさらけ出していることなのだ。

この弱さを克服していくことが、現在に生きる私たちの使命だと考えます。一人一人の弱さを克服して、住みよいまち西条をつくり上げていきましょう。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課